

茶 摘 み

1 夏も 近づく 八十八夜

野にも 山にも 若葉が しげる

あれに 見えるは 茶摘じゃないか

あかね だすきに 菅のかさ

2 日和 続きの 今日このごろを

心 のどかに 摘みつつ 歌う

摘めよ 摘め摘め 摘まねば ならぬ

摘まにゃ 日本の

茶にならぬ

